



英文法の大事なエッセンス

- ✓ まず「何がどうした！」で『船』(文)を完成させる
- ✓ その後、「フック」(前置詞)でつないで情報を足していく



? では、どの「フック」(前置詞)を選ばいいの？

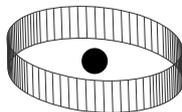


ここで、代表的な「フック」(前置詞)とそのイメージを見ておきましょう

■ まずは、「場所」に関するフック 3つ

in

「囲まれている」感じ



on

「面」の上に接している感じ



at

「点」を指している感じ



ネイティブが、「フック」の後ろにくるものを どういう イメージ、どういふ 世界 として
見ているかによって、使う「フック」が決まります！

I was **in** Hiroshima last week. 先週は広島にいました

... Hiroshima を“限られた範囲(=地域)”と見ている感覚

I was born **on** a dairy farm. 酪農場で生まれたんです

... a dairy farm を“平面(=敷地)”と見ている感覚

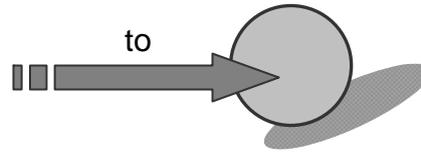
I'll see you **at** the station tomorrow! 明日駅で会いましょう

... the station を“地点”として見ている感覚

■ 「方向」を示すフック 2つ

to

「～に向かって」



到達地点があって、その方向に向かっていく 感じです

I went **to** New York on business. 私は仕事でニューヨークに行きました

Many people moved **to** the city area. 多くの人が都市部に移りました

for

「向きたい対象の方へ」



何か価値があるものが後ろにきて、「向きたい対象への方向」を示す”イメージ
「ほしいもの」「必要なもの」「役に立ちたい対象」「向きたい場所」などがきます

He left **for** a meeting with a client. 彼はお客さんとの会議に出かけました
…会議に“向かって”、会議の“ために”出かける 感覚

We asked **for** everyone's input on this issue.
この件について、皆さんのインプット(意見)をお願いしました。
…インプットを“求めて”頼む 感覚

■ 「分野(～について)」を示すフック 2つ … 少～しニュアンスが違います

on

「ある面の上に接している、乗っている」

厳密に「その分野そのもの」
「その分野に直接かかわるもの」という感覚



▶ on this project
=そのプロジェクト(そのもの)について

This is the report **on** the production cost for product A.

このレポートは、商品 A の生産コストについてのものです

…生産コスト自体について のように、範囲がより明確な“分野”の感覚

about

「ある一点を含むその周辺一帯」

onに比べると、範囲が曖昧な「分野」の感覚



▶ about this project
=そのプロジェクトに関わるいろいろなことについて

We saw the information **about** your company and your services on the website.

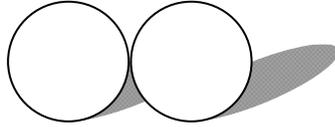
おたくの会社とサービスなどについてのいろいろな情報をウェブサイトで見ました

…会社とサービス自体と、それらに関する他の色々なことも含む感覚

■ 分かりにくい フックを 1つ

with

「~とくっついて、~と一体で」



We had a meeting **with** our client yesterday. 昨日お客さんと会議をしました
…お客さんと “一緒に” の感覚

気持ちを表す形容詞がきたあとで、その「原因・原因となる状況」が後ろにくることも
「それとともにあって、気持ちがどうか」という感覚

He is very happy **with** the result of the test run. 彼は試運転の結果にとっても満足している
…「満足!」、 “何とともにあってか” というのが 「試運転の結果」